

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【公表番号】特表2013-543742(P2013-543742A)

【公表日】平成25年12月9日(2013.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2013-066

【出願番号】特願2013-534422(P2013-534422)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/56 (2006.01)

A 6 1 B 17/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/56

A 6 1 B 17/04

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月10日(2014.10.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

骨構造部内に挿入される縫合系の固定デバイスであって、

第 1 縫合系 (4) を少なくとも挿通可能な第 1 アイレット (1 0 , 2 0)、スロット、又は小穴を少なくとも備える第 1 部分 (1 1 , 2 1) と、

骨の皮質部に形成される骨貫通型の座部又はホール (5) に安定的に結合されるようにされた少なくとも第 2 部分 (1 2 , 2 2) と、を有しており、

前記固定デバイスは、他の縫合系 (4) を少なくとも挿入可能な第 2 アイレット、スロット、又は小穴をさらに具備しており、

前記第 1 部分 (1 1 , 2 1) は、前記第 1 部分 (1 1 , 2 1) が面の一部 (1 5 , 2 5) によって骨 (6) の外面に当接可能であるようにするマッシュルーム形状によって、通常、前記座部又はホール (5) の外部に少なくとも部分的に配置されることを特徴とする固定デバイス。

【請求項 2】

少なくとも前記第 2 部分 (1 2 , 2 2) は、前記座部又はホール (5) への有効な結合が可能になるように弾性変形可能であることを特徴とする請求項 1 に記載の固定デバイス。

【請求項 3】

前記第 2 部分 (1 2) は、縫合系 (4) を少なくとも挿通可能な前記第 2 アイレット (1 3)、スロット、又は小穴を特定するようにされた環状で閉じた細長形状の構造部を有することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の固定デバイス。

【請求項 4】

前記第 2 部分 (1 2) は、環状の前記構造部の互いに対向する中央部分が他の部分に対して外側に突出する凸状の外形を全体的に具備することを特徴とする請求項 3 に記載の固定デバイス。

【請求項 5】

前記第 2 部分 (2 2) は、互いに対向する 2 つの分岐部 (2 4) によって構成される、開いた細長形状の構造部を有することを特徴とする請求項 2 に記載の固定デバイス。

【請求項 6】

前記第 1 アイレット (2 0)、スロット、又は小穴と、前記 2 つの分岐部 (2 4) によって構成される前記第 2 部分 (2 2) と、の間に配置される、縫合系 (4) を少なくとも挿通可能な前記第 2 アイレット (2 3)、スロット、又は小穴を有することを特徴とする請求項 5 に記載の固定デバイス。

【請求項 7】

前記 2 つの分岐部 (2 4) は、前記 2 つの分岐部 (2 4) の互いに対向する中央部分が凸状であり、かつ、前記 2 つの分岐部 (2 4) の他の部分に対して外側に突出している凸状の外形を協働して形成することを特徴とする請求項 5 または 6 に記載の固定デバイス。

【請求項 8】

前記第 1 部分 (1 1 , 2 1) が前記骨 (6) の外面に当接可能であるようにするマッシュルーム形状によって、通常、前記座部又はホール (5) の外部に少なくとも部分的に配置されている前記第 1 部分 (1 1 , 2 1) は、当接面の一部 (1 5 , 2 5) を介して前記骨 (6) の外面に可能な限り広範囲に当接するように、前記固定デバイスの中央の長軸線に対して方向付けられることを特徴とする請求項 7 に記載の固定デバイス。

【請求項 9】

使用時に、前記固定デバイスの前記第 1 アイレット (1 0 , 2 0) には、所定の位置に固定された外部縫合系 (4) が設けられており、かつ前記第 2 アイレット (1 3 , 2 3) には、所定の位置に固定された内部縫合系 (4) が設けられており、

前記内部縫合系 (4) は、骨 (6) の内部において、予め外科医によって形成された貫通チャンネル (6 0) に挿通させられるようになっていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の固定デバイス。

【請求項 1 0】

前記固定デバイスは、チタン合金又は P E E K から形成されることを特徴とする請求項 1 に記載の固定デバイス。